

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

アンテナは、はり付許容範囲内に取り付ける



国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法(はり付許容範囲内)にはり付けないと、道路交通法違反となります。
はり付許容範囲内については、本書の「はり付ける位置について」をご覧ください。

注意

本機の通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

車載用以外には使用しない



車載用以外(例えばレジャーポートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

禁止

配線・取り付け／取りはずしは、専門技術者に依頼する



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

●安全のため、お買い上げの販売店にご依頼ください。

高温になる場所などに取り付けない



直射日光やヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

禁止

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない



傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

禁止

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない



雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

禁止

強い衝撃を与えない



落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

禁止

リモコンは直射日光・高温の場所を避けて保管する



ケースの変形、内部電池の破裂、液もれの原因になることがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

注意

電池は正しく使う



禁止

破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は、使用しないでください。
- 充電・分解・加熱をする、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしないでください。
- 著しく温度が高くなる場所(直射日光のあたるところ、ヒーターの近く、窓を閉め切った車や車のトランクの中など)に、電池や電池の入ったリモコンなどを放置しないでください。



- 電池の⊕と⊖を、電池ケースの表示に合わせて入れてください。
- 使い切った電池は、すぐに交換してください。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を保管するときは、テープなどで絶縁してください。

電池を廃棄する場合は

各自治体の指示(地域の条例)に従って処理してください。

電池の液もれが発生した場合の処理について

- 電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
- 液が身体や衣服に付着したときは、きれいな水でよく洗い流してください。
- 万一、目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。

正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

取り扱いについて

- エンジンをかけてご使用ください。
エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
- 衝撃を与えないでください。
本機を落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障の原因になります。
- リモコンを落としたり、踏みつけたりなど衝撃を与えないでください。
無理な力をかけると部品がこわれ、故障の原因となります。
- 他の機器と接続する場合は……
接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。